



第 127 号(平成 30 年 9 月 25 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は次の方々に長野県の山岳地域で発生した遭難事例を原則的に 1 週間ごとにお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。

- ◇お客様と接する登山用品店舗スタッフの方
- ◇インターネットの登山情報サイトを利用される登山者
- ◇長野県内の各地区山岳遭難防止対策協会

平成 30 年中の山岳遭難発生状況(平成 30 年 1 月 1 日～9 月 17 日)

BC(バックカントリー)は、登山行為を伴う「スキー(スノーボード)登山」と登山行為を伴わない「ゲレンデ外滑走」の総称。

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)外国人
平成 30 年	223	27	5	114	101	247	10
平成 29 年	234	48	3	126	84	261	26
前年同期比	-11	-21	+2	-12	+17	-14	-16
内)BC	-15	-2	+1	-4	-20	-25	-12

山域別発生状況


区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	46	20.6%	8		25	19	52
	後立山	58	26.0%	6	2	29	25	62
	その他	29	13.0%	3	1	14	12	30
	計	133	59.6%	17	3	68	56	144
中央アルプス	16	7.2%	1		6	9	16	
南アルプス	8	3.6%	1	2	3	2	8	
八ヶ岳連峰	25	11.2%	4		19	9	32	
その他の山岳	41	18.4%	4		18	25	47	
計	223		27	5	114	101	247	

態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	66	29.6%	20		53		73
転倒	54	24.2%			54		54
病気	20	9.0%	2			18	20
道迷い	33	14.8%		1		41	42
落石	1	0.4%			1		1
雪崩	1	0.4%	1				1
落雷		0.0%					0
疲労凍死傷	26	11.7%				31	31
不明・他	22	9.9%	4	4	6	11	25
計	223		27	5	114	101	247

男女別・年齢別比率

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下			2	5	7	30人 18.1%			1	4	5	24人 29.6%	12	54人 21.9%
20代			2	6	8		1		3	7	11		19	
30代	3		7	5	15		1		6	1	8		23	
40代	5	0	9	12	26	62人 37.3%			12		12	25人 30.9%	38	87人 35.2%
50代	2	2	18	14	36		1		6	6	13		49	
60代	9	2	14	19	44	74人 44.6%	1		14	6	21	32人 39.5%	65	106人 42.9%
70以上	3	1	14	12	30		1		6	4	11		41	
計	22	5	66	73	166		5	0	48	28	81		247	
比率	67.2%						32.8%							

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
9月11日	南アルプス 仙丈ヶ岳	67	男	不明	死亡	何らかの原因により、登山道の上に倒れていたもの
11日、南アルプス仙丈ヶ岳において、登山道に倒れている男性 A さん 67 歳を伊那警察署員が救助しましたが、死亡が確認されました。						
9月12日	北アルプス 蝶ヶ岳	40	男	発病	無事救出	テント泊中に発病し、行動不能
12日、北アルプス蝶ヶ岳において、男性 A さん 40 歳が、体調不良のため行動不能となる山岳遭難が発生し、県警へりで救助しました。						
9月14日	北アルプス 唐松岳	63	女	転落	負傷	八方池から下山中、木道を踏み外し、転落、負傷
9月14日	北アルプス 南岳	71	男	転倒	負傷	上高地に向けて下山中、バランスを崩して、転倒、負傷
14日、北アルプス南岳天狗池付近で、男性 A さん 71 歳が転倒して負傷する山岳遭難が発生し、15日、県警山岳救助隊員、北アルプス南部地区遭対協隊員とともに下山しました。						
9月14日	上伊那郡中 川村四徳地 籍山林内	73	男	疲労	無事救出	きのこ採りのため、単独で入山中、疲労により行動不能
14日、上伊那郡中川村の山林にキノコ採りに出かけた男性 A さん 73 歳が、行方不明となる事案が発生し、警察、消防等で捜索しています。15日、山林内で発見され病院に収容されました。						
9月15日	南アルプス 甲斐駒ヶ岳	68	男	滑落	負傷	甲斐駒ヶ岳から下山中、滑落、負傷
15日、南アルプス甲斐駒ヶ岳六万石付近で、男性 A さん 68 歳が滑落する山岳遭難が発生し、16日、伊那警察署員及び南アルプス北部地区遭対協隊員が発見救助し病院に収容しました。						
9月16日	中央アルプ ス念丈岳	55	男	転倒	負傷	念丈岳から下山中、登山道を踏み外し、転倒、負傷
16日、中央アルプス念丈岳から大島山にかけての登山道で、男性 A さん 55 歳が転倒して歩行困難となる山岳遭難が発生し、消防及び警察が17日救助について向かう予定です。						
上記遭難現場の状況						
						

山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

9月3週は7件の遭難が発生しました。下山中に転・滑落、転倒して、負傷する遭難が後を絶ちません。下山時は、足にかかる負担が大きく、ちょっとした気の緩みや、疲労の蓄積により、体重を支えられず、バランスを崩したり、石でつまづいたりします。登頂後は、ストレッチやマッサージをする等、身体のケアを怠らないようにしてください。下山時こそ、集中力を切らさず、細心の注意を払う必要があります。

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jpまでお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝